

市長直轄

歴代三役	-----	74
国際交流	-----	77
広報	-----	78
国宝・彦根城築城410年祭	-----	79

歴代三役

1. 市長

歴代	氏名	就任	退任
1	木島茂	昭和 12 年 6 月	昭和 16 年 6 月
2	松山藤太郎	〃 16 年 10 月	〃 20 年 3 月
3	堀 勘治郎	〃 20 年 4 月	〃 20 年 4 月
4	末原貫一郎	〃 20 年 6 月	〃 21 年 11 月
5	安居喜八	〃 22 年 4 月	〃 22 年 7 月
6	小林郁	〃 22 年 8 月	〃 26 年 3 月
7	小林郁	〃 26 年 4 月	〃 28 年 3 月
8	井伊直愛	〃 28 年 5 月	〃 32 年 5 月
9	井伊直愛	〃 32 年 5 月	〃 36 年 5 月
10	井伊直愛	〃 36 年 5 月	〃 40 年 5 月
11	井伊直愛	〃 40 年 5 月	〃 44 年 5 月
12	井伊直愛	〃 44 年 5 月	〃 48 年 5 月
13	井伊直愛	〃 48 年 5 月	〃 52 年 5 月
14	井伊直愛	〃 52 年 5 月	〃 56 年 5 月
15	井伊直愛	〃 56 年 5 月	〃 60 年 5 月
16	井伊直愛	〃 60 年 5 月	平成 元年 5 月
17	獅山向洋	平成 元年 5 月	〃 5 年 5 月
18	中島一	〃 5 年 5 月	〃 9 年 5 月
19	中島一	〃 9 年 5 月	〃 13 年 5 月
20	中島一	〃 13 年 5 月	〃 17 年 5 月
21	獅山向洋	〃 17 年 5 月	〃 21 年 5 月
22	獅山向洋	〃 21 年 5 月	〃 25 年 5 月
23	大久保貴	〃 25 年 5 月	〃 29 年 5 月
24	大久保貴	〃 29 年 5 月	現 在

2. 助役・副市長

歴代	氏名	就任	退任
1	石坂久吉	昭和 12 年 7 月	昭和 13 年 7 月
2	田中常吉	〃 13 年 7 月	〃 17 年 7 月
3	上原豊吉	〃 17 年 7 月	〃 19 年 3 月
4	大寄文友	〃 19 年 5 月	〃 22 年 4 月
5	中川醇	〃 22 年 4 月	〃 24 年 4 月
6	草野文男	〃 22 年 8 月	〃 23 年 4 月
7	藤谷宗順	〃 24 年 4 月	〃 28 年 4 月
8	藤谷宗順	〃 28 年 4 月	〃 28 年 12 月
9	多羅尾光道	〃 29 年 1 月	〃 33 年 1 月
10	多羅尾光道	〃 33 年 1 月	〃 37 年 1 月
11	夏原義蔵	〃 37 年 2 月	〃 41 年 1 月
12	夏原義蔵	〃 41 年 1 月	〃 42 年 6 月
13	藤村由次郎	〃 42 年 7 月	〃 46 年 7 月
14	藤村由次郎	〃 46 年 7 月	〃 50 年 7 月
15	藤村由次郎	〃 50 年 7 月	〃 54 年 7 月
16	藤村由次郎	〃 54 年 7 月	〃 58 年 7 月
17	本本一雄	〃 58 年 8 月	〃 62 年 8 月
18	本本一雄	〃 62 年 8 月	平成 元年 5 月
19	西村松夫	平成 元年 5 月	〃 2 年 3 月
20	甲斐俊一	〃 2 年 10 月	〃 4 年 10 月
21	西村仁郎	〃 5 年 2 月	〃 5 年 5 月
22	西堀末治	〃 5 年 7 月	〃 8 年 3 月
23	岩田正春	〃 8 年 4 月	〃 12 年 4 月
24	岩田正春	〃 12 年 4 月	〃 16 年 4 月
25	岩田正春	〃 16 年 4 月	〃 17 年 5 月
26	松田一義	〃 18 年 5 月	〃 22 年 5 月
27	藤井比早之	〃 21 年 7 月	〃 22 年 12 月
28	松田一義	〃 22 年 5 月	〃 23 年 8 月
29	山根裕子	〃 26 年 4 月	〃 30 年 3 月
30	川嶋恒紹	〃 27 年 12 月	〃 30 年 1 月
31	山田静男	〃 30 年 4 月	現 在

○ 地方自治法の改正により、平成19年4月1日から助役に代えて副市長を置くものとされた。

3. 収 入 役

歴 代	氏 名	就 任	退 任
1	中 川 醇	昭和 12 年 7 月	昭和 16 年 7 月
2	中 川 醇	〃 16 年 7 月	〃 20 年 7 月
3	中 川 醇	〃 20 年 7 月	〃 22 年 4 月
4	松 林 亀 太 郎	〃 22 年 4 月	〃 25 年 11 月
5	津 村 芳 男	〃 26 年 1 月	〃 30 年 1 月
6	津 村 芳 男	〃 30 年 1 月	〃 34 年 1 月
7	津 村 芳 男	〃 34 年 1 月	〃 38 年 1 月
8	西 村 栄 次 郎	〃 38 年 2 月	〃 42 年 1 月
9	西 村 栄 次 郎	〃 42 年 2 月	〃 46 年 2 月
10	西 村 栄 次 郎	〃 46 年 2 月	〃 50 年 2 月
11	外 海 幸 太 郎	〃 50 年 3 月	〃 52 年 2 月
12	岩 元 賢 一	〃 52 年 3 月	〃 56 年 3 月
13	岩 元 賢 一	〃 56 年 3 月	〃 60 年 3 月
14	岩 元 賢 一	〃 60 年 3 月	平成 元 年 3 月
15	西 村 仁 郎	平成 元 年 5 月	〃 5 年 2 月
16	安 居 宗 一	〃 5 年 2 月	〃 5 年 6 月
17	川 村 省 一	〃 5 年 7 月	〃 9 年 7 月
18	川 村 省 一	〃 9 年 7 月	〃 13 年 7 月
19	川 村 省 一	〃 13 年 7 月	〃 14 年 3 月
20	内 田 宏	〃 14 年 4 月	〃 18 年 3 月
21	内 田 宏	〃 18 年 4 月	〃 19 年 3 月

○ 地方自治法の改正により、収入役は平成19年3月末に廃止された。

国 際 交 流

1. 姉妹都市・友好都市交流の推進

米国ミシガン州アナーバー市とは、昭和44年(1969年)に姉妹都市提携を結んだ。また、中国湖南省湘潭市とは、平成3年(1991年)に友好都市提携を結んだ。提携以来、市民使節団や中学生交流団の相互派遣を行い、両市との交流を推進している。

2. 平成29年度主要事業

(1) アナーバー市との交流（彦根市国際協会委託事業）

9月に、滋賀県ミシガン州友好親善使節団としてアナーバー市とその周辺から参加した団員（2人）の受入を行った。また、10月に、彦根市中中学生北米研修派遣団（生徒14人、引率者2人）をアナーバー市に派遣し、現地でのホームステイや姉妹校での授業参加、交歓を通して、姉妹都市との交流を推進した。

(2) 湘潭市との交流

8月に、日中国交正常化45周年を記念して中国北京市で開催された卓球大会に、湘潭市とともに中学生選手団（生徒2人、引率者2人）を派遣し、スポーツを通して、将来を担う青少年の友好交流を促進した。

また、湘潭市との友好都市提携協議書等に基づき、12月に、彦根市中中学生交流団（生徒2人、引率者2人、通訳者1人）を湘潭市に派遣し、ホームビジットや学校訪問、交歓を通して、友好都市との交流を推進した。なお、湘潭市からの代表団の受入も予定していたが、湘潭市の都合により中止となった。

広 報

1 印刷物による広報

(1) 「広報ひこね」

体 裁 A4縦判2色刷り（内カラーページ4ページ）、24ページ 1日号
A4縦判2色刷り、16ページ 15日号

発行回数 年間22回

毎月2回、1日および15日を定日として発行（ただし、8月・1月は1日号のみ）

配布先 市内全世帯

2 放送による広報

(1) ラジオ放送

・京都放送（KBS滋賀）

ひこね市便り 毎週金曜日

・エフエム滋賀

インフォメーション彦根 毎月第2、第4木曜日

・エフエムひこね

ラジオ広報ひこね 毎週月～金曜日（1番組当たり10分を1日12回放送）

(2) テレビ放送

・びわ湖放送（BBC）

彦根かわらばん（日本まんなか直送便） 年8回

（1回約5分滋賀県、三重県、岐阜県、和歌山県で放送）

テレビCM「彦根市スポット広報」 年72回

（1回30秒、滋賀県、三重県、岐阜県で放送）

3 市政PR事業

(1) 報道機関への資料提供（パブリシティ活動）

資料提供数1年間約1,600件の内、市政広報は約800件

(2) 定例記者会見 年間13回 毎月1回（ただし、1月は2回開催）

発表案件

市議会定例会提出案件、働き方・業務改革推進本部の設置、ひこね梨さんぼ等

(3) 広告

国宝・彦根城築城410年祭、選抜高校野球大会出場応援、アプリ「ひこまち」等

4 ホームページ等による情報発信

(1) ホームページ

平成26年4月1日にホームページを一新

平成29年度 ホームページアクセス数 約216万件

(2) アプリ「ひこまち」

登録者数 1,199人（平成30年3月31日現在）

国宝・彦根城築城410年祭

平成29年に国宝・彦根城の天守が完成して410年を迎えることや、大河ドラマ「おんな城主 直虎」の放送を契機に、彦根城をはじめとする彦根のまちの歴史、文化、伝統等、彦根の魅力を全国・世界に発信するとともに、観光振興による継続的な地域経済の活性化を図るため、平成29年3月18日から同年12月10日までの268日間、国宝・彦根城築城410年祭を開催した。

事業実施に当たっては、国宝・彦根城築城410年祭推進委員会の主催事業を、彦根城を中心に市内全域で開催するとともに、市民団体等の独創的な提案事業に補助金を交付する市民提案事業を実施したところ、期間中の彦根城入山者数は約72万人にのぼった。

なお、平成29年度の彦根城入山者数は83万5,958人であり、近年では築城400年祭が開催された平成19年度の84万9,056人に次いで2番目に多い結果となったが、目標としていた90万人を達成することはできなかった。

しかしながら、平成29年度の「彦根市観光に関する経済効果測定調査報告書」によると、本市の観光に関する調査数値のほとんどが前年に比べて増加しており、築城410年祭期間中の観光消費による地域経済へのインパクトは大きかったと考えられ、本事業の開催目的の一つである「彦根城を始めとする彦根の町の歴史、文化、伝統等彦根の魅力を市内外に発信するとともに、観光振興による継続的な地域経済の活性化を図ること」について、一定の効果があつた。

平成29年度実績

(1) 主催事業

① 特別展「プレイバック 城下町彦根シアター」

- ・ 期間：平成29年3月18日（土）～12月10日（日）
- ・ 会場：彦根城西の丸三重櫓
- ・ 内容：築城から江戸時代にかけての彦根城や城下町を、VR（バーチャルリアリティ）を用いた高精細デジタル技術により再現し、歴史的人物のエピソードを織り交ぜてエンタテインメント性、ストーリー性の高い映像作品を上映することで、彦根城築城の意義や城下町の成り立ちなどについて分かりやすく紹介した。

② 特別展「井伊家 家宝の魅力と江戸期の世界」

- ・ 期間：平成29年3月18日（土）～7月2日（日）
- ・ 会場：彦根城天秤櫓
- ・ 内容：彦根城が築城された時代に、世界が当時の日本や彦根をどのように認識し、彦根が世界にどのような目を向けていたのかを歴史的価値の高い地球儀や地図を基に解説した。また、世界への関心が高く「コレクター大名」として語られる井伊家が収集した家宝の由来や細かな見どころを、タ

タッチパネルディスプレイを用いて展示し、本市の歴史・文化に対する来場者の関心惹起を図った。

③ 「おんな城主 直虎」スペシャル企画

大河ドラマに見る井伊家 －「花の生涯」から「おんな城主 直虎」まで－

- ・ 期間：平成29年3月18日（土）～12月10日（日）
- ・ 会場：開国記念館
- ・ 内容：大河ドラマ「おんな城主 直虎」に登場する衣装や小道具を特別企画展示として紹介した。
また、直虎が命を懸けて守り抜き、彦根藩祖となった井伊直政など、「彦根藩井伊家」に関する展示を行い、井伊家ゆかりの町として認知度向上を図った。

④ リアル宝探し×城下町彦根 伝説のお宝探偵団

- ・ 期間：平成29年3月18日（土）～5月7日（日）
- ・ 会場：彦根城、城下町
- ・ 内容：宝の地図に書かれた謎を解きながら、彦根城エリアと城下町エリアに隠された宝箱を探す参加型イベントを実施し、城下町への周遊促進と滞在時間延伸による観光消費の創出を図った。
◇ 参加者数 : 25,000人（マップ配布枚数）
◇ 第1ステージ（彦根城エリア）達成者 約5,000人
◇ 第2ステージ（城下町エリア）達成者 約2,300人

⑤ ご城下にぎわい市「彦根ええもん物産館」

- ・ 期間：平成29年3月18日（土）～12月10日（日）
- ・ 会場：彦根城二の丸
- ・ 内容：彦根の特産の近江牛や湖国ならではの湖魚の佃煮、鮎寿司、和菓子、漬物、地酒、特産品等を販売し、効率的な観光消費の創出と来場者のおもてなしに努めた。

⑥ 映画「関ヶ原」特別展・東軍の陣 ～家康と直政～

- ・ 期間：平成29年7月8日（土）～9月18日（月・祝）
- ・ 会場：彦根城天秤櫓
- ・ 内容：徳川家康や井伊直政など、映画「関ヶ原」に登場する東軍武将の甲冑や衣装、小道具に加え、彦根市内でのロケ地マップの展示、本陣体験コーナー、特典映像コーナーなどを設置するとともに、原作者・司馬遼太郎に関する企画展を開催し、効果的な誘客に努めた。

⑦ 映画「関ヶ原」特別展・西軍の陣 ～三成と左近～

- ・ 期間：平成29年7月8日（土）～9月18日（月・祝）
- ・ 会場：夢京橋あかり館1階

- ・ 内容：石田三成や島左近など、劇中に登場する西軍武将の甲冑や衣装、劇中で使用された大砲など、レアグッズを展示し、彦根城から城下町エリアへの周遊促進を図った。

⑧ HIKONE ART CASTLE 2017 天秤櫓特別展

- ・ 期間：平成29年9月23日（土）～12月10日（日）
- ・ 会場：彦根城天秤櫓
- ・ 内容：国宝・彦根城築城410年祭のプロモーションムービーなどの制作に関わった4組のアーティストによる「城・戦国江戸期の不易流行表現」をテーマとしたアート展を開催し、新たな切り口で彦根城の魅力発信を図った。

⑨ HIKONE STUDENT ART EXHIBITION 2017

- ・ 期間：平成29年9月23日（土）～10月1日（日）
- ・ 会場：彦根城下町（宗安寺、スミス記念堂、寺小屋力石）
- ・ 内容：学生アートアワードの一次審査を通過した20名のファイナリストによるアート展を開催し、斬新な視点と表現で本市の魅力発信を図った。

⑩ 国宝・彦根城築城410年祭記念狂言会「アイルランドとおんなの世界」

- ・ 開催日：平成29年10月7日（土）
- ・ 会場：彦根城博物館 能舞台
- ・ 観覧者数：1部 250人、2部 213人
- ・ 内容：井伊家にゆかりのある茂山家による記念狂言会を開催した。アイルランド・日本外交関係樹立60周年を記念し、アイルランド文学と狂言との出逢いをテーマにした第1部と、大河ドラマ「おんな城主 直虎」の放送に関連した第2部を開催した。
 - ◇ 1部：愛(あいる)蘭土(らんど)と狂言の出逢い W.B. イェイツと小泉八雲
 - ◇ 2部：女が主(あるじ)

⑪ 彦根市中南部地域イベント「荒神山・古代歴史ロマンと食と火の祭典」

- ・ 開催日：平成29年10月9日（月・祝）
- ・ 会場：荒神山公園周辺一帯
- ・ 来場者数：約8,000人（昼 約5,000人、花火 約3,000人）
 - ウォークラリーイベント「彦根・古代歴史ロマン紀行」（参加150名）
 - 稲部遺跡付近や荒神山古墳など彦根城が築城される以前からあった彦根のロマンあふれる歴史や豊かな自然環境などを体感していただくことを目的にウォークラリーを開催した。
 - フードコート
 - 地元店舗（16店舗）によるフードコートを設置し、彦根ならではの食のPRを行った。

- ステージイベント

地元中学校や大学の吹奏楽部による演奏、ダンスショーやお笑い芸人によるお笑いライブに加え、大河ドラマ「おんな城主 直虎」で連携する浜松市キャラクターによるステージなどを開催した。

- フィナーレ

本イベントのフィナーレと彦根市制施行80周年記念式典の開催を祝して、約1,000発の花火を打ち上げ、田園風景の美しさを発信した。

⑫ 演劇「彦根物語ー女城主と井伊直政」

- ・開催日：平成29年11月4日（土）、5日（日）

- ・会場：ひこね市文化プラザ エコーホール

- ・観覧者数：4日昼の部 131名、夜の部 88名

5日昼の部 176名

合計：395名

- ・内容：映画「武士の家計簿」等の原作者で、歴史学者の磯田道史氏の脚本による、次郎法師と井伊直政を描いた演劇を開催した。また、磯田氏の講演会や井伊家第18代当主 井伊直岳氏と対談、殺陣体験会を開催した。

⑬ 彦根眺城フェス ～城を眺める、城から眺めるフェスティバル～

- ・開催日：平成29年6月4日（日）

- ・会場：金亀公園一帯

- ・来場者数 約50,000人（会場内：約30,000人、彦根城域内：約20,000人）

- ・内容：彦根城周辺上空での航空自衛隊ブルーインパルスによる展示飛行の実施にあわせて、金亀公園をメイン会場としたイベントを開催し、効果的な誘客を図った。

- ステージイベント

近江高校吹奏楽部、陸上自衛隊第3音楽隊による演奏、パイロットによるブルーインパルス展示飛行の解説やトークショー、お笑い芸人によるお笑いライブを開催した。

- 飲食ブース・井伊椀グランプリ（事業担当：彦根商工会議所青年部）

会場内に飲食ブースを設置して、来場者へのおもてなしを図るとともに、「彦根の名物となる井」をコンセプトに趣向を凝らしたオリジナル井で人気を競う、「井伊椀グランプリ」を開催した。

⑭ 体験型フォトラリーキャンペーン「隠れひこにゃんを探せ！」

- ・期間：平成29年10月21日（土）～12月10日（日）

- ・会場：彦根城内

- ・内容：彦根城内3か所に隠れたひこにゃんを探す参加型イベントを開催し、彦根城内での滞在時間

の延伸を図った。

⑮ 閉幕式典

- ・開催日：平成29年12月10日（日） 午後2時00分～
- ・会場：彦根城博物館 能舞台
- ・参加者数：160名（内一般公募60人）
- ・内容：268日間に亘って実施した「国宝・彦根城築城410年祭」のフィナーレを飾る式典を開催した。

(2) 市民提案事業

- ① 築城から410年 国宝・彦根城の城郭を楽しむ（彦根ボランティアガイド協会）
- ② 彦根へカモン！！～まちがい探しラリー（滋賀大学経済学部谷ロゼミ）
- ③ 古式砲術公開合同訓練演武（彦根商工会議所青年部古式銃研究会）
- ④ 国宝・彦根城築城410年記念「彦根城眺遠的大会」（彦根市弓道連盟）
- ⑤ 彦根城 市民狂言会（彦根ほへと会）
- ⑥ ひこねのための新作講談の創作と披露（特定非営利活動法人 スミス会議）
- ⑦ 彦根おもてなし甲冑隊プロジェクト（ひこね亀樂車）
- ⑧ 天秤棒でやってみんぼう！～江戸時代へタイムスリップ～（ひこねで朝市実行委員会）